

平成 24 年 2 月 9 日

Clean TeQ Holdings Limited との非在来型天然ガス（コールシームガス・CSG）に対する水処理事業に関する豪州合弁企業設立について

日本瓦斯株式会社

日本瓦斯株式会社は、この度、オーストラリアの上場会社 Clean TeQ Holdings Limited（以下クリーン・テック）と非在来型天然ガス・コールシームガスの水処理事業に関する合弁企業を設立することに合意し、平成 24 年 2 月 7 日オーストラリア大使館において調印式を行いました。

1. 設立する会社の概要

- | | |
|------------|--------------------------|
| (1) 会社名 | Associated Water Pty Ltd |
| (2) 設立地 | オーストラリア ビクトリア州 |
| (3) 合弁会社発足 | 平成 24 年 2 月 3 日 |
| (4) 資本金 | AUD8,000,000（約 640 百万円） |
| (5) 株主構成 | 当社 50%、クリーン・テック 50% |
| (6) 事業内容 | ガス採掘時等の水処理事業 |

2. 設立目的

豪州で注目を集める非在来型天然ガス事業にとっては、ガス採掘時に出る汚染水（塩水等）の処理が最大の課題となっており、厳しい環境規制が課されている状況です。クリーン・テックは、独自のイオン交換ろ過技術の特許を有しており、当該技術をコールシームガス産出時の脱塩処理の前処理過程に利用することによって、塩水処理の高度化及びコスト削減を可能にしております。すでに、クリーン・テックはブリティッシュガスの 100%子会社でありますクイーンズランドガスとテストプラントによる実証実験を終了し、同社の水処理の受注が決定しております。本計画は、弊社とクリーン・テックで合弁会社を設立し、同社が有する移動式、固定式等様々な同社の特許を使った水処理技術により、対象事業者に向け当該水処理の設計、施工、管理、及びファイナンス等サービスを長期にわたって提供するものです。

当社は本契約に於いて、豪州の合弁事業は非在来型天然ガスの水処理事業に特化しておりますが、日本を含むアジア地区に於いては今後、クリーン・テックの様々な特許技術を使って、当該技術が生かせる領域事業者の皆様とタイアップをし、資源事業に対する協同投資を進めて参る所存です。また、北米、オーストラリア、アジアを始めとする各国のエネルギー事業を核とする海外展開も、更に強力に進めて参ります。

3. 調印式について

- (1) 式典名 日本瓦斯株式会社、Clean TeQ Holdings Limited CSG
水処理事業豪州合弁企業設立調印式
- (2) 日時 2012年2月7日(火) 14:00~16:00
- (3) 場所 オーストラリア大使館 B1会場
東京都港区三田2-1-14
- (4) 式典概要

本事業に関係する企業並びに報道機関関係者ご出席のもと、始めに、駐日オーストラリア大使、ブルース・ジェームズ・ロス・ミラー大使にご挨拶いただき、当社和田社長の挨拶、クリーン・テック社 ピーター・ヴォイト社長のご挨拶と続き、合弁会社の設立調印式と写真撮影を行いました。次に、クリーン・テック側よりコールシームガス事業の技術説明があり、その後、ご出席の皆様との質疑応答を行いました。

最後に懇談会を開催し、参加者の皆様と交流を深め、式典は滞りなく終了しました。



・記者発表の様子



・調印式の様子



・調印後、握手を交わす両社



左 : クリーンテック社 ピーター・ヴォイト社長
中央 : 駐日オーストラリア大使
ブルース・ジェームズ・ロス・ミラー大使
右 : 日本瓦斯株式会社 和田眞治社長

以上